

エンタープライズにおけるSRE立ち上げと New Relic選定に至った背景とは

株式会社 mediba
Tomoya Kitaura

2022/5/13
NRUG SRE支部 Vol.1

自己紹介



Tomoya Kitaura [@kitta0108](#)
mediba inc. SRE Unit

■勉強会運営

-  Tech-on
-  JAWS-UG コンテナ支部
-  JAWS-UG SRE支部
-  NRUG SRE支部

■好きなNew Relicのサービス

- NRQL

medibaについて

■事業の一部をご紹介します

- auスマートパス

会員数1,500万人以上。国内有数の有料会員数を誇るスマートフォン向けサービス「auスマートパス」の企画・開発・編集と、サービス運営に関わる全般を担当しています。

- auWebポータル

medibaが運営するポータルサービス「au Webポータル」。

Webフロントおよびバックエンドシステムの開発や、日々の企画・改善などのグロースハックを担当。

各種サービスとの連携を行い、国内外のニュースをはじめ、

検索サービス、天気、乗換、占いなど日常生活に欠かせない情報をリアルタイムでお届けしています。

- auウェルネス

auウェルネスは、健康を目指すすべての方へ健康活動の習慣化をサポートするサービスです。

iOS/Android/Watchアプリ各種機能のUIUX設計と開発、

プロモーションなどサービス運営に関わるクリエイティブの制作を担当しています。

- ポイントためる

「ポイントためる」は毎日まわせるポイントガチャやアプリの利用・アンケートなどでPontaポイントをためることができるサービスです。

コンテンツの企画・開発・運用全般を担当し、

楽しくおトクにPontaポイントがためられるサービスを日々提供しています。

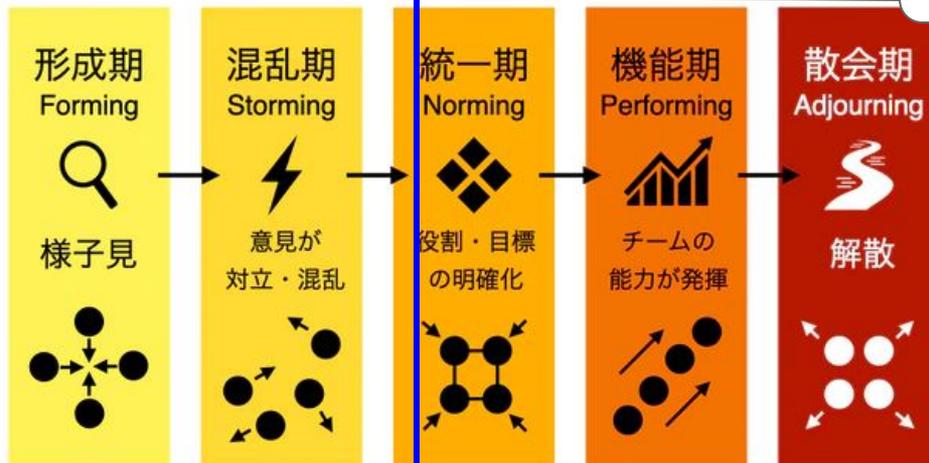
これからお話すること

タックマンモデル

組織の成長が通る、5つの段階。

最大の成果を生み出すため、チームの各状態を把握する。

medibaのSREは
イマココ



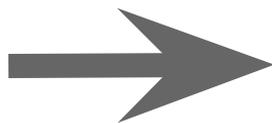
アジェンダ

- **SRE組織の立ち上がり**
- **SREが解決する組織課題とは？**
- **不健全なプロダクト開発とは？**
- **New Relic選定理由**
- **New Relic導入戦略**

SRE組織の立ち上がり



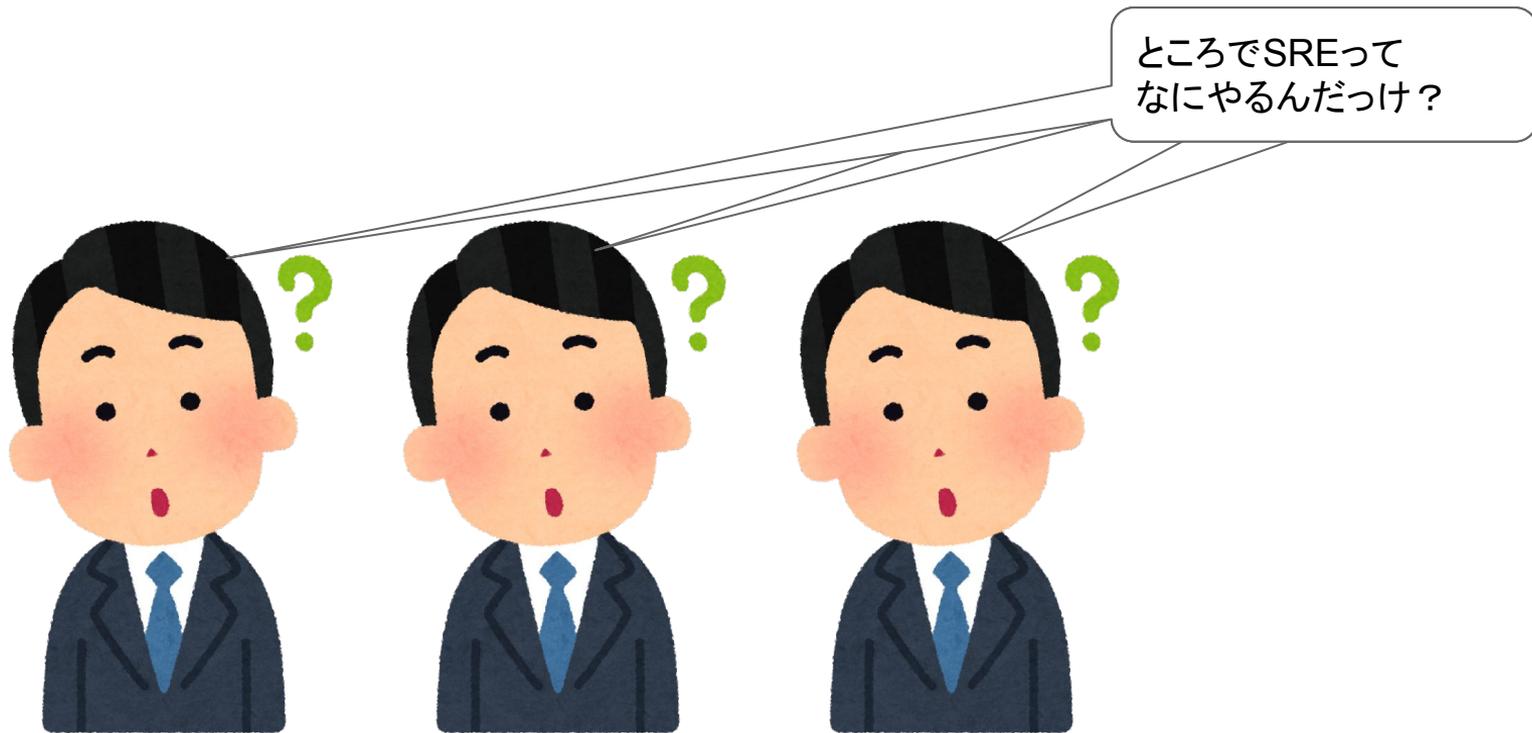
インフラ部



俺がSREだ！

SRE推進部

SRE組織の立ち上がり



SRE組織の立ち上がり

お題: あなたにとってのSREは何？

SLI/SLOの運用!



Aさん

開発者が開発しやすい環境作る!



Bさん

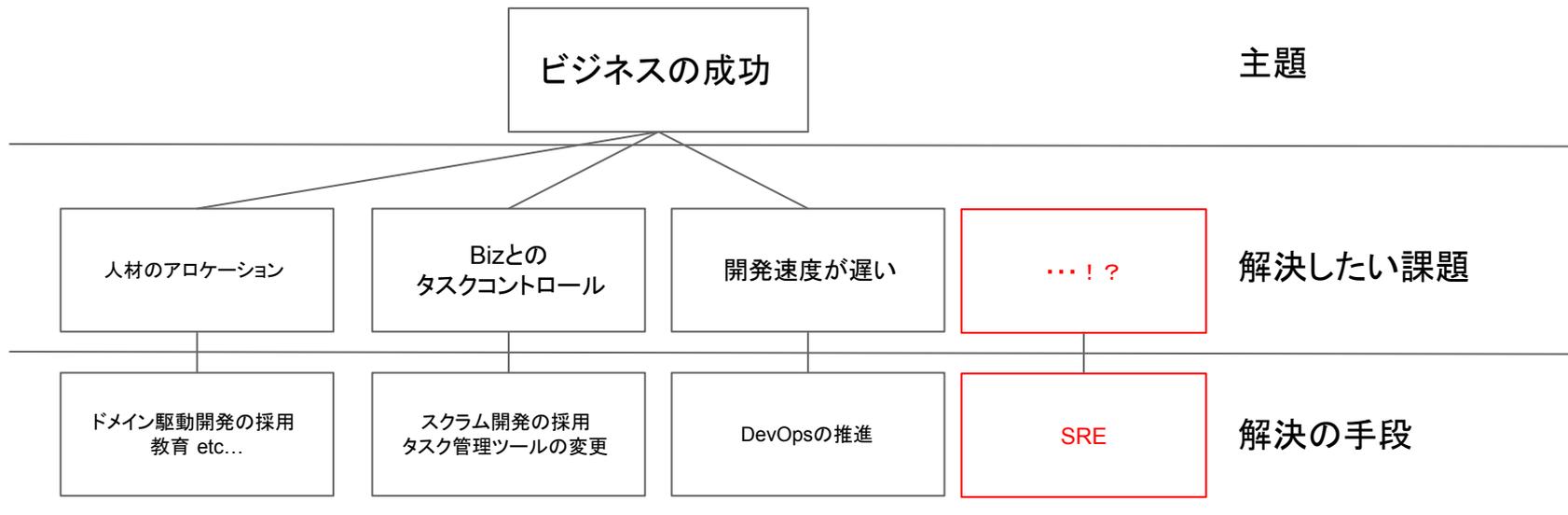
共通で使える運用ツールを開発する!



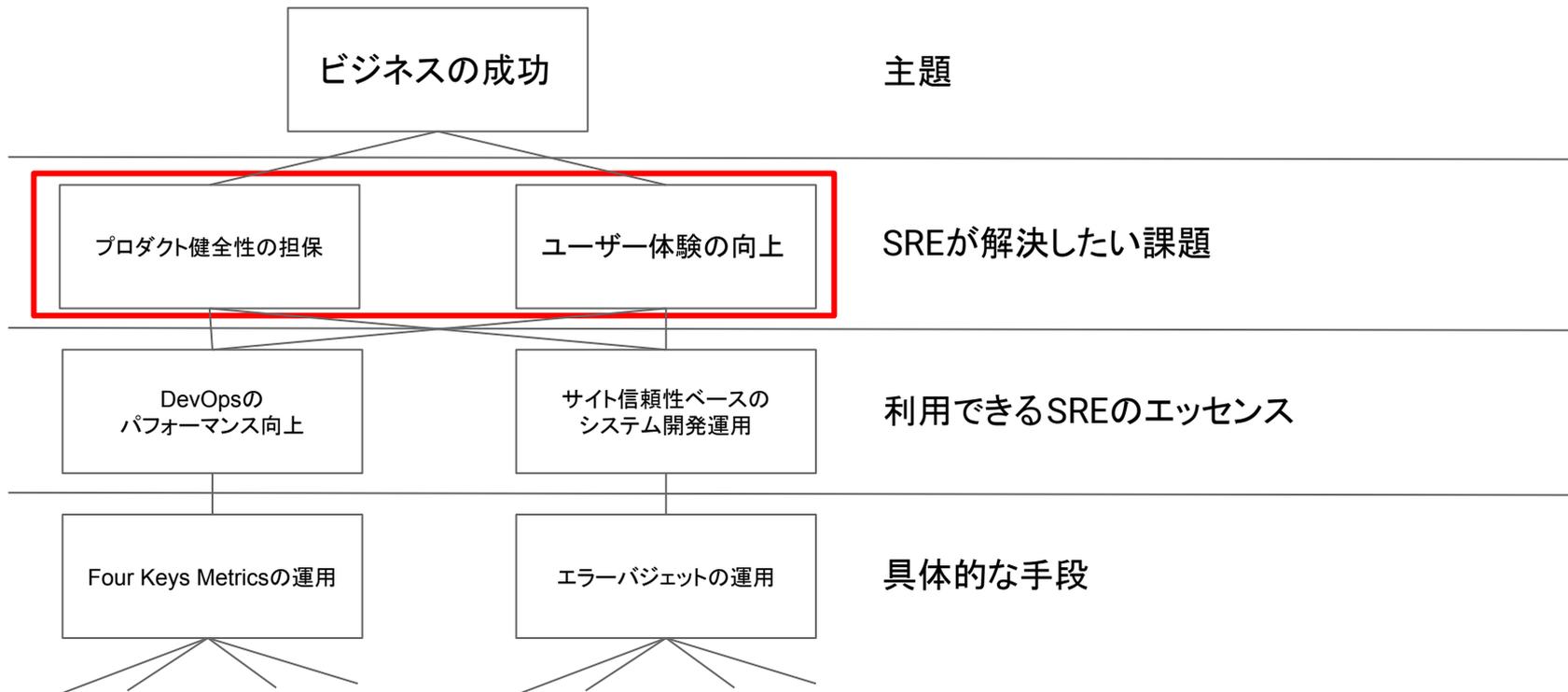
Cさん

なかなか一つのスコープに議論がまとまらない・・・

SREで解決する課題とは？



SREで解決する課題とは？



不健全なプロダクト開発とは？

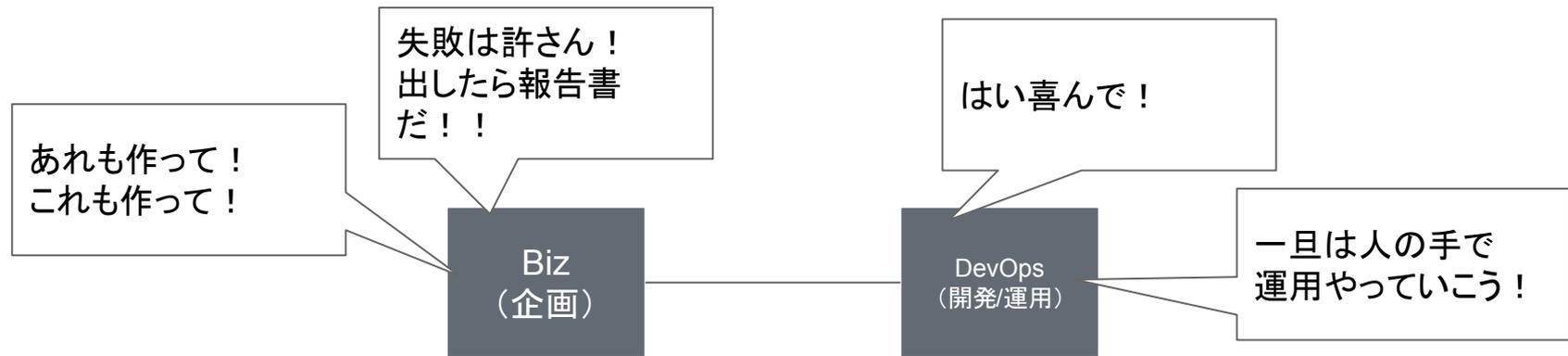
プロダクト開発のサイクル

※なぜDevOpsではなくてSREなのかという観点での説明をしたいので、DevOpsをくっつけて表現しています。



不健全なプロダクト開発とは？

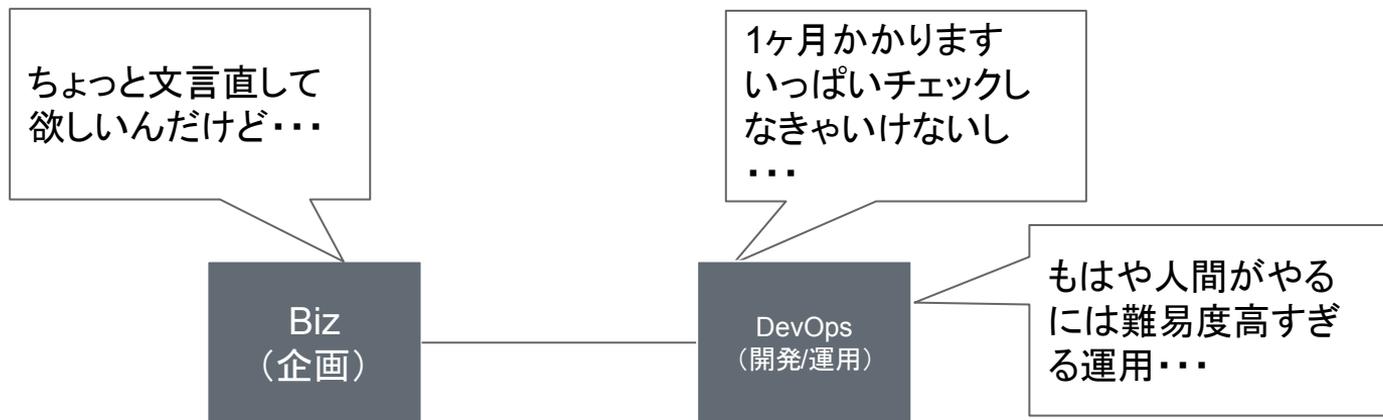
プロダクト開発のサイクル 不健全な例その1-1



Biz側の高い要望を受け入れ続けると・・・

不健全なプロダクト開発とは？

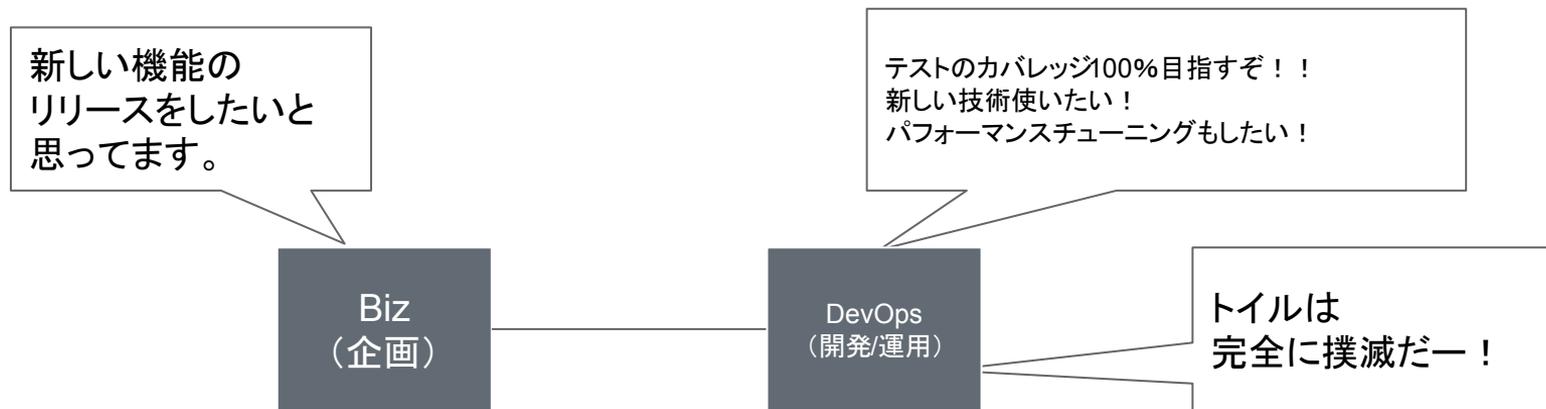
プロダクト開発のサイクル 不健全な例その1-2



いずれ運用が破綻し、新規開発が困難に...

不健全なプロダクト開発とは？

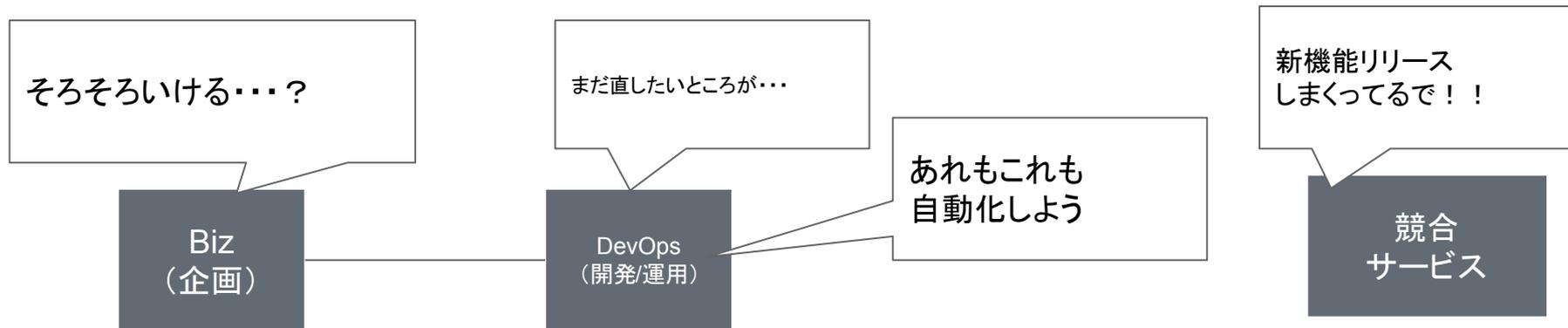
プロダクト開発のサイクル 不健全な例その2-1



DevOpsのメンテナンスに過剰投資しすぎると・・・

不健全なプロダクト開発とは？

プロダクト開発のサイクル 不健全な例その2-2

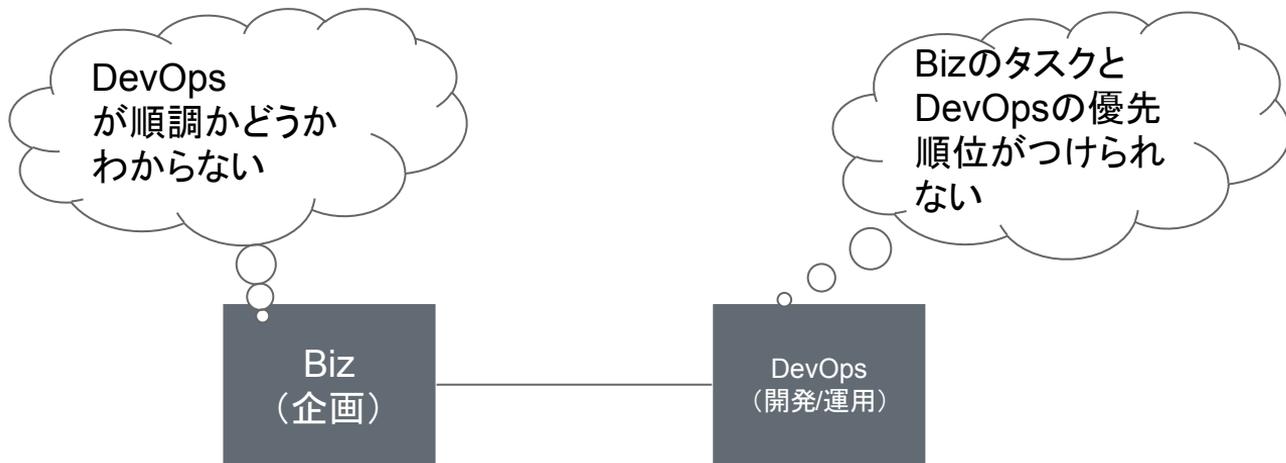


機会損失が生まれたり、競合サービスとの競争にやぶれる

不健全なプロダクト開発とは？

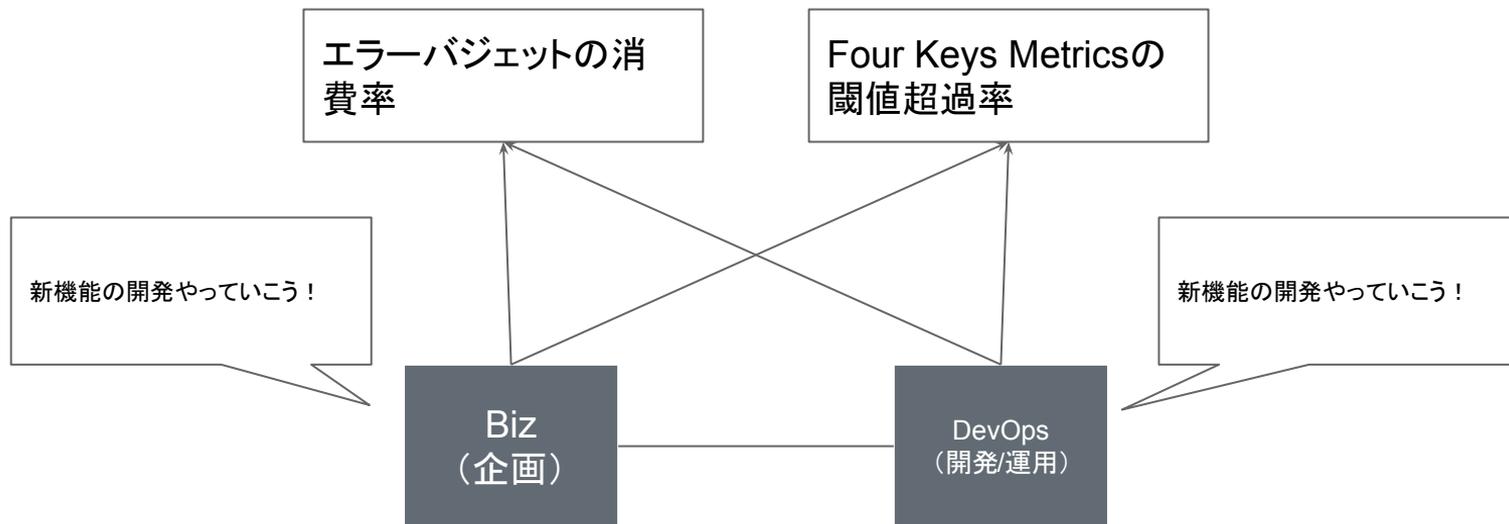


不健全なプロダクト開発とは？



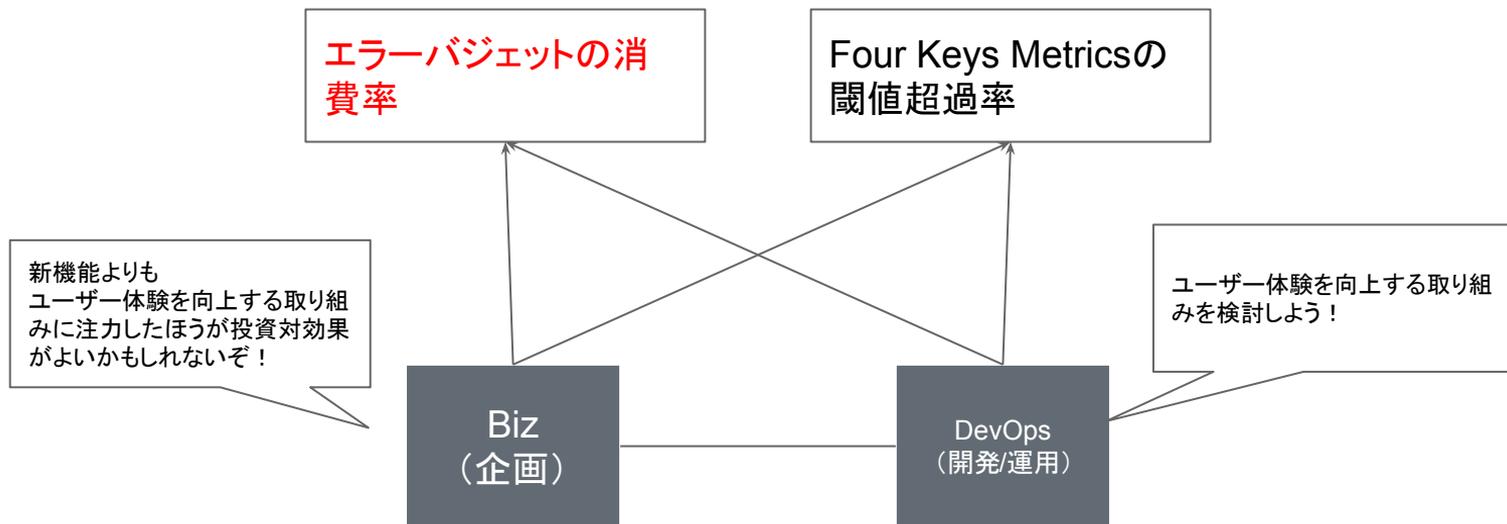
不健全なプロダクト開発とは？

全てが順調な場合



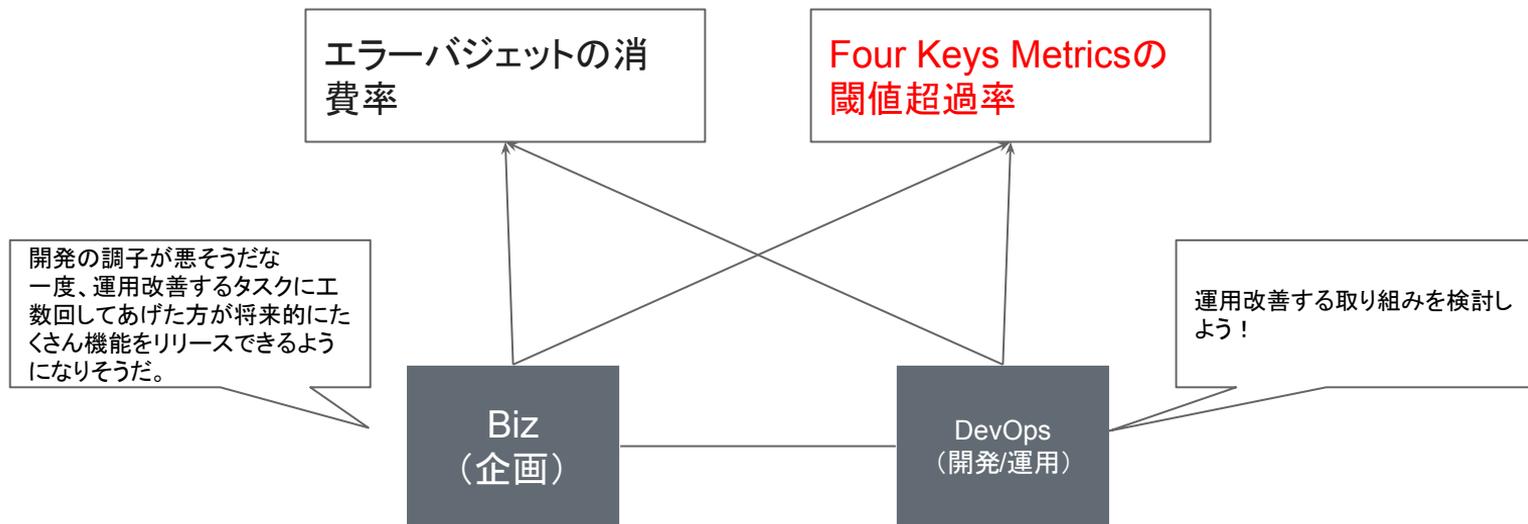
不健全なプロダクト開発とは？

ユーザー体験が低下している時

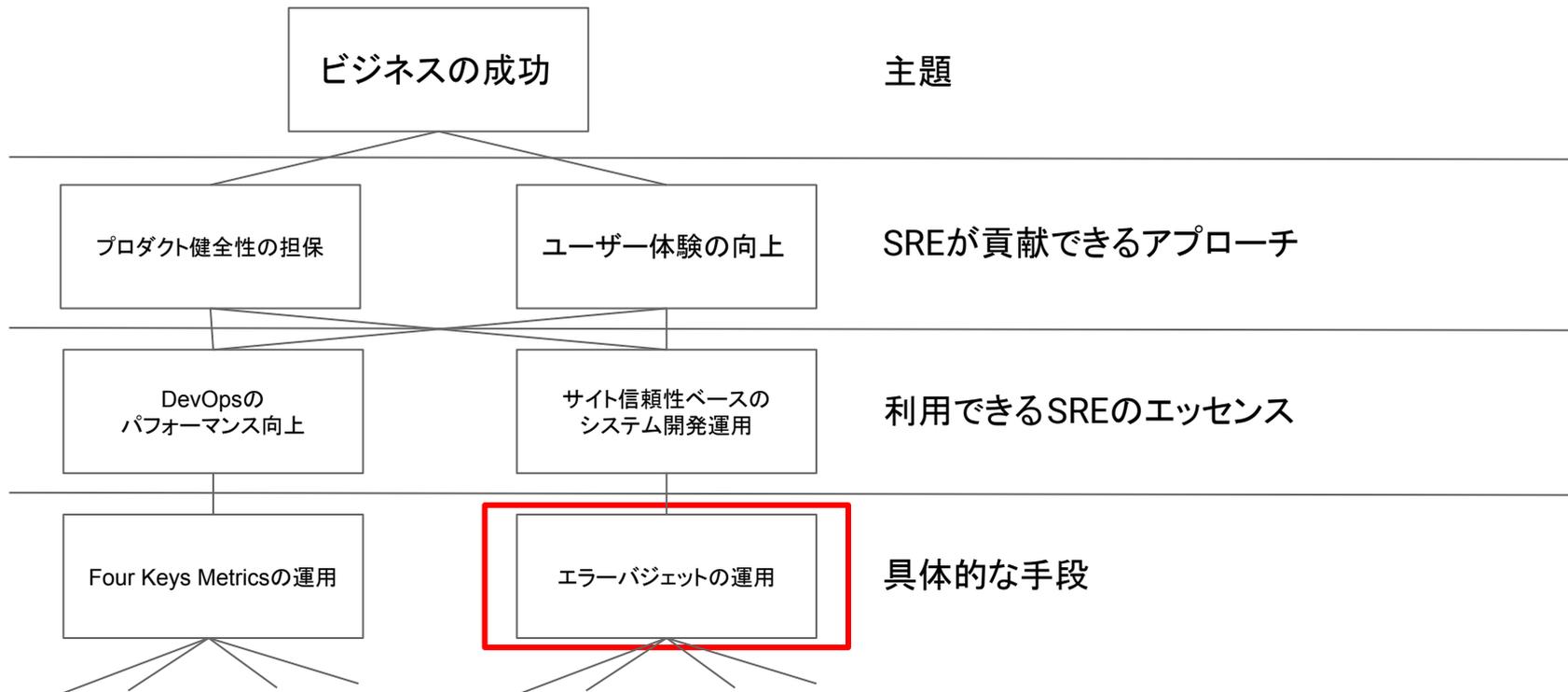


不健全なプロダクト開発とは？

DevOpsうまくいってない時



New Relic 選定の理由



New Relic 選定の理由



New Relic 選定の理由

■ 強力な技術サポート

- 技術コンサルの方にプロダクト向けの説明や、デモを見せてもらったのですが、最終系のイメージを掴むのに大変助かりました。

■ True-Upモデルという価格体系

- 従量課金制で発生する一定の心理障壁を取り払うことが期待できた。

■ SRE活動に特化したマネージドサービスの存在

- **Service Level Management**等、明確に**SRE**が想定ユーザーとされていることがうかがえる。(今後も十分に期待できる！！)

■ 使い心地

- **NRQL**補完機能が最高すぎる。事前キャッチアップ無しでもすぐに使えた。

New Relic導入戦略

- ちょっとずつ導入する作戦
 - 新しいことを始める時のベストプラクティス
- ちょうどいい感じの労力投資とそれに見合った効果が得られるところを狙っていく
 - **New Relic**はデキることがいっぱい
- 構築設計フェーズで頑張りすぎない。
 - 最適な**o11y**は運用のフェーズでわかっていくものも多い
 - 運用フェーズで必要に応じて拡充していく気持ちを持つ

まとめ

- **SRE**でやることを整理するときは課題ベースからの逆算がおすすめ
- プロダクトの開発サイクルを健全に保つ方法論として**SRE**のプラクティスは活用できると考えています。
- エラーバジェットや**four keys metrics**の運用に必要な要素である各メトリクスの収集や描画機能に**New Relic**は十分な機能を有していると感じています。
- **o11y**の導入は運用フェーズで頑張っていくというマインドセット結構大事

より高みを目指した開発を
みんなで楽しんでいきましょう！！

ご静聴ありがとうございました！！

ちょこっとだけPR

こんな規模感やフェーズのSREチームと一緒に盛り上げてくれる仲間大募集中です！

ご興味ある方はTwitter (@kitta0108)あるいはNRUG SlackチャンネルでDM下さい！！
ゆるく雑談させてください！！